

## 社長の仕事～追補

「社長の仕事」を掲載してから10年ほど経つが、考えややっている事ははさほど変わっていない。数字は若干変わって、社員数は120人に派遣20人を加え140人、売上は波があるが直近のピークの2023年に40億円、経常利益9億6000万円、次のピークの2027年には売上50億円、経常利益10億円は突破すると思われる。扱っている製品は変わらないが、用途としてAI関連が目立ってきた。一方経営環境も変わり、世の中がAIブームに沸いているのは追い風だが、異常なまでの物価の高騰、賃金相場の上昇、人口減少による人手不足など経営を難しくする要素も増えてきている。一方以前掲げた社員待遇に関する数値目標は順次達成し、一回のボーナス100万円超えは毎回10人以上、年収100万円超えも毎年何人か出るようになった。残る退職金1000万円超えも、今の幹部の中から退職者がいる時には達成できそうだ。

そんな中やっと工業用地の取得の目途が立ち、2027年から3年掛り、40億円ほどの費用を費やしての第3工場の建設を計画している。数年前に10億円ほどの予算で第2工場の建設を経験したので、その続きと思えばそんなに難しいものではないが、20年、30年先を見据えた計画を立てなければと思う。また、昨年私はミラーフィッシュ症候群なる珍しい病気で9ヶ月の入院を余儀なくされた。病室まで社員を呼んだりパソコンを持ち込んだりしてさほど仕事に支障はなかったが、いよいよ生命の限界を感じさせられた。事業継承の問題ももっと真剣に取り組まなければという考えが深まった。まだ身内からの後継者が決まらないので、社員の中からも考え、またM&A業者の担当者とも真剣に話すようになった。

まわりの会社にも色々変化があった。特に市内の中小製造業ではいよいよ3代目への移行が進みつつある。子息が立派な後継者になったところもあるし優秀な娘婿を社長に迎えたところもある。IT関連では社員を後継者としたところもある。その一方M&Aで大きな会社の傘下に入ったが、一番の目的だった新工場建設を実施してもらえないといったところもある。当社も第3工場が完成したら、いよいよ後継者を決定しなければならない。

先日、数年ぶりに「社員の心得」を書き直して配布した。10か条あるうちの一つ目が「嘘をついたり隠し事をしたりしない事」、二つ目は「自分だけ楽したり得したりしない事」。これらは経営者としても一番大切な事であり、今後とも変わらないものとして守っていくべきものである。